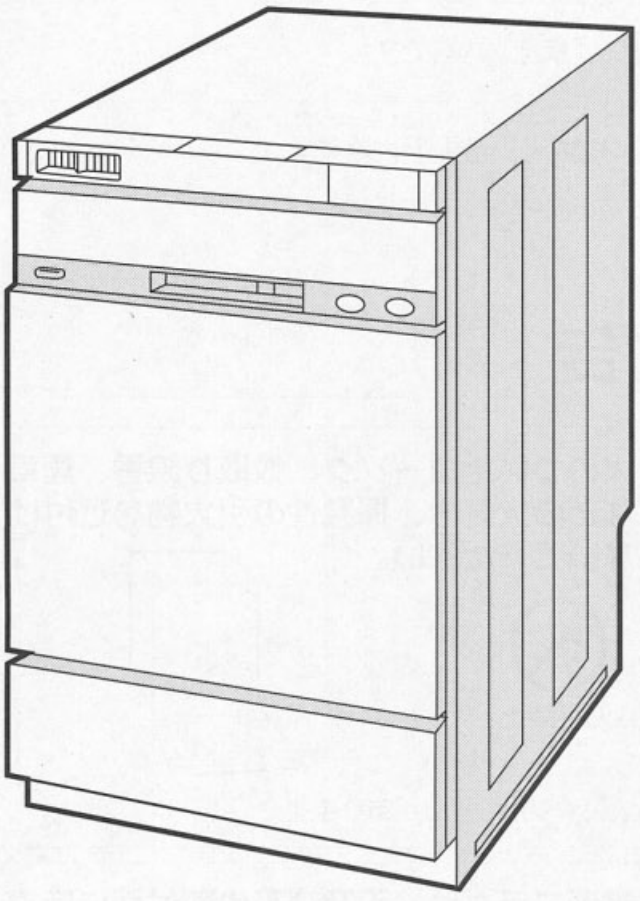
食器洗い乾燥機
NP-45A2E1
45cm幅シリーズ

National

据付工事説明書



もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください……2
各部のなまえと寸法……4
設置場所について……5
電気工事について……6
給・排水工事……8
設置工事手順……10
試運転……15
試運転後の作業……17
買い替えの場合の配管施工例……18
工事後の点検（チェックリスト）……19
お客様への取り扱い説明……19

工事をされる方へのお願い

- 配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 工事終了後 工事後の点検 のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据え付け工事に関して不明な点がありましたら事業部へご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 修理は販売店へご相談ください。

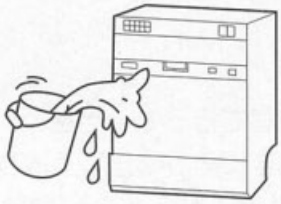
火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。

火気禁止

火災や変形の恐れがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。

禁止



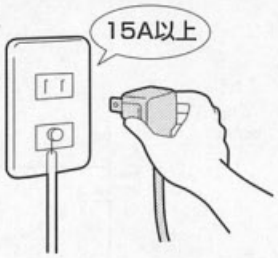
ショート・感電の恐れがあります。

電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

火災の原因になります。

⚠警告

定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使ってください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

アースを確実に取り付けてください。

アース線接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

⚠注意

交流100V以外では使用しないでください。

禁止

火災・感電の原因となります。

コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。

禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

- 販売店に点検・修理を依頼してください。

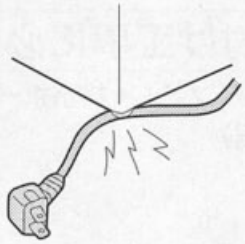
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。

禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

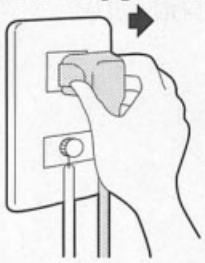
電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

禁止



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

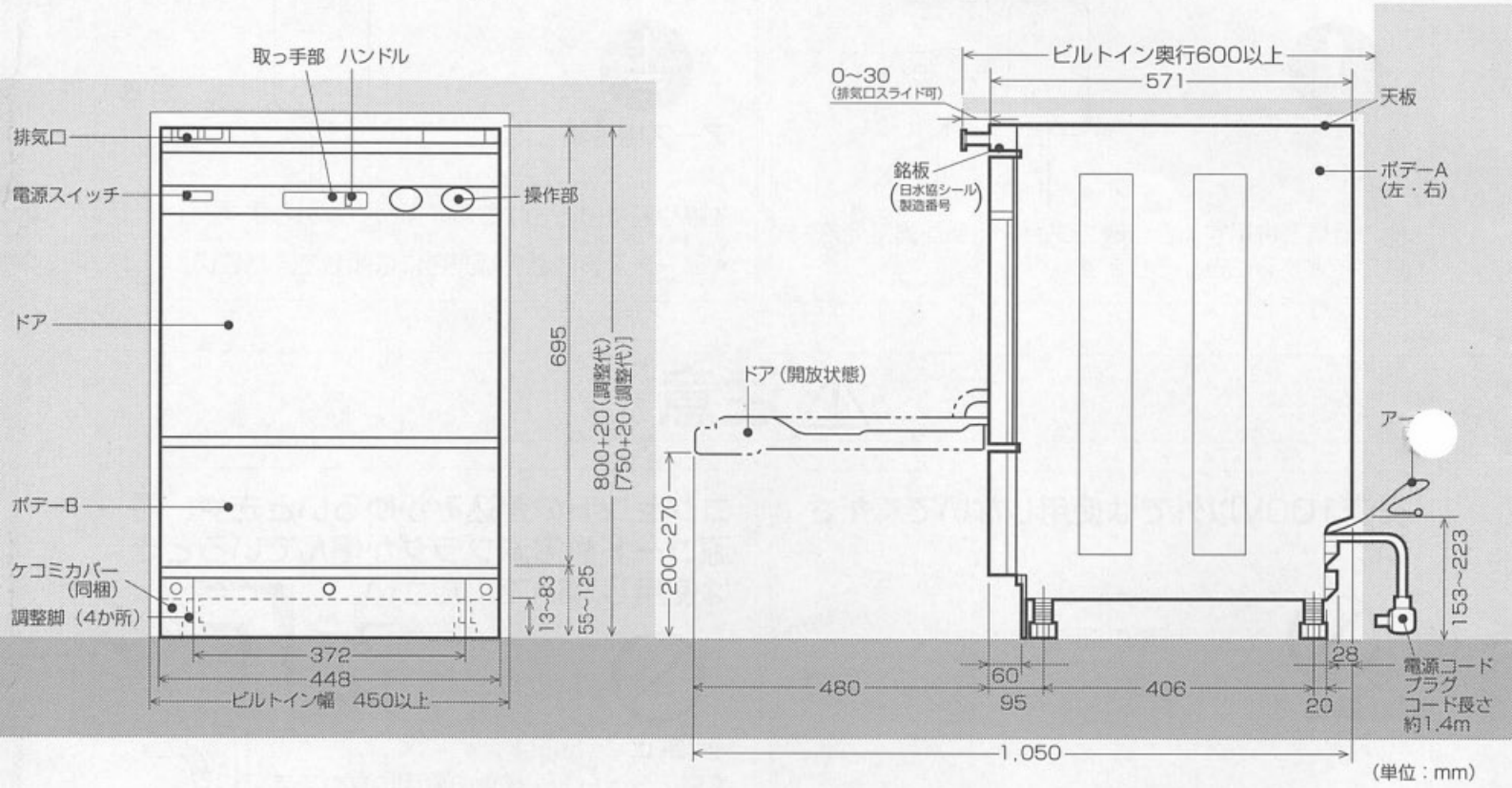


感電やショートして発火することがあります。

各部のなまえと寸法

●本体およびかごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

寸法はキッチン高さ850mmの場合
[ ] はキッチン高さ800mmの場合

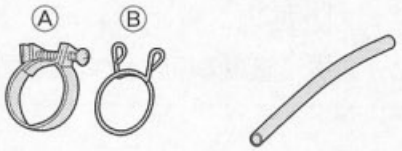


(単位：mm)

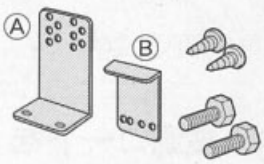
付属品の確認

据え付け工事に必要な付属品 工事用

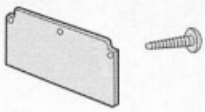
●ホースバンド（各1個）　●排水ホース　●ホーススプリング



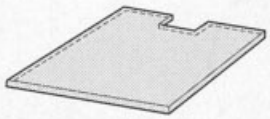
●転倒防止金具（各1個）
●タッピンネジ大（2本）
●ボルト（2本）



●ケコミカバー
●タッピンネジ（1本）黒色



●型紙（本体天面のダンボール）



転倒防止金具の位置決めに使用。

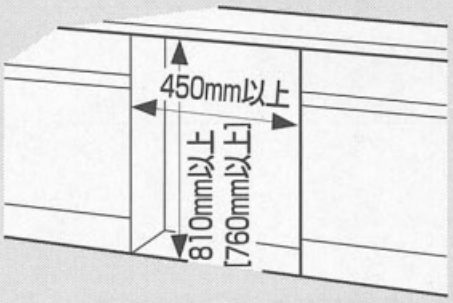
ご使用時に必要な付属品 お客様用

●専用洗剤（100g）
計量スプーンつき

設置場所について

寸法はキッチン高さ850mmの場合
[ ] はキッチン高さ800mmの場合

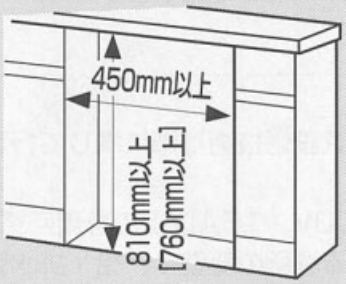
中間にビルトインする場合



片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。

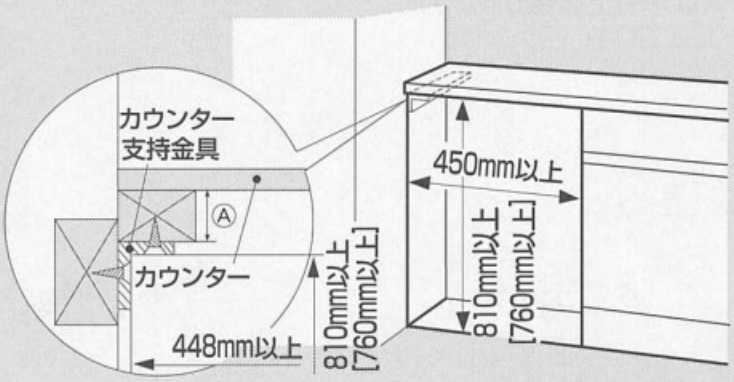
150mmキャビネットを使用



片側が壁面または、トールユニットの場合

●カウンター支持金具は別売補強部材（品番N-L2）又は市販のL金具を使用します。

※締結ビスの長さは、右図のⒶ寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。

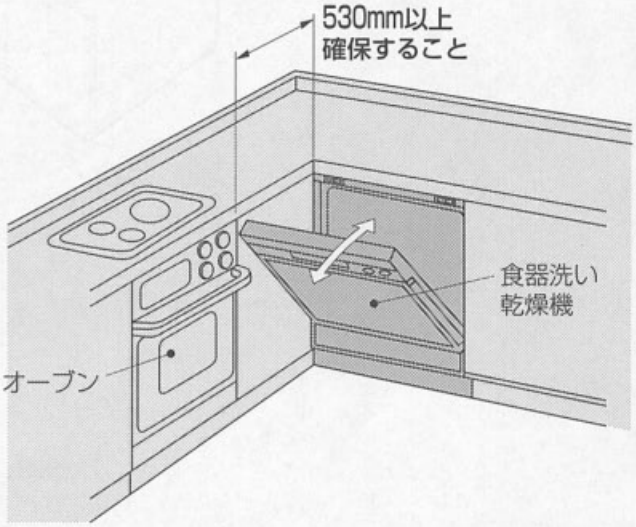


ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。
（別売補強部材（品番N-L2）又は市販のL金具を使用します。）

お願い

●L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブン等の取っ手部に当ったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

※本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



電気工事について

⚠警告

定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使ってください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠注意

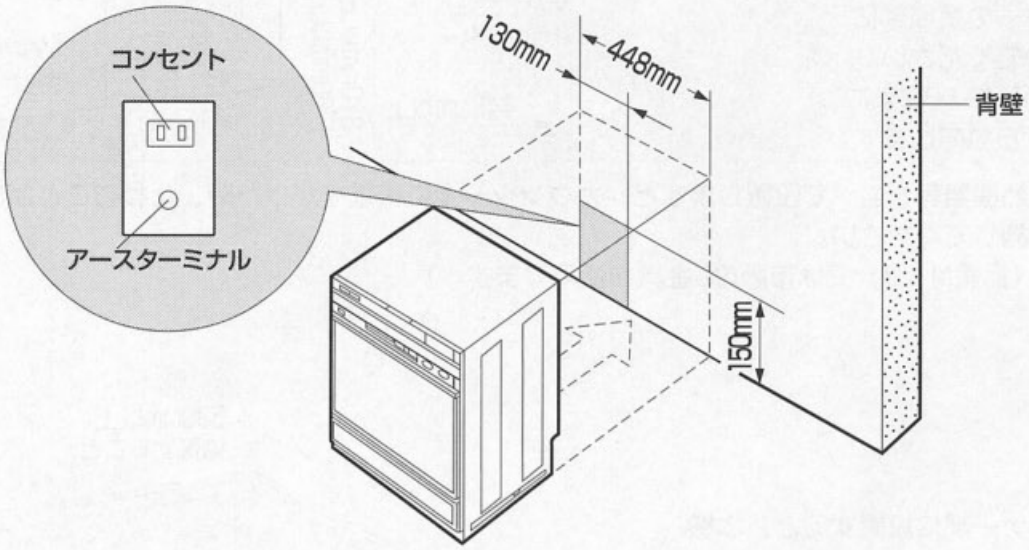
交流100V以外では使用しないでください。

禁止

火災・感電の原因となります。

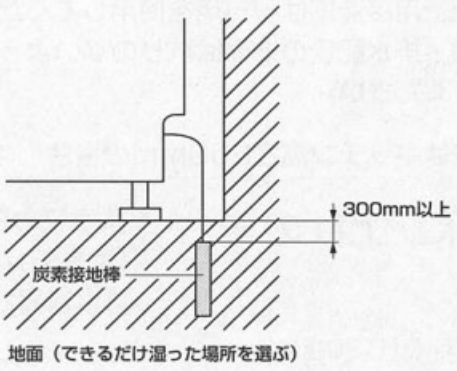
■工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
- コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）



炭素接地棒でアースする場合

- 炭素接地棒（別売：部品番号ANP3C-160）を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。（アース工事は有料ですのでご了承ください。）



漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

推奨漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番（松下電工）BJS 203

定格電流20A、感度電流30mA

（AC100-200V両用）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーＨＢ型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

※尚、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

給・排水工事

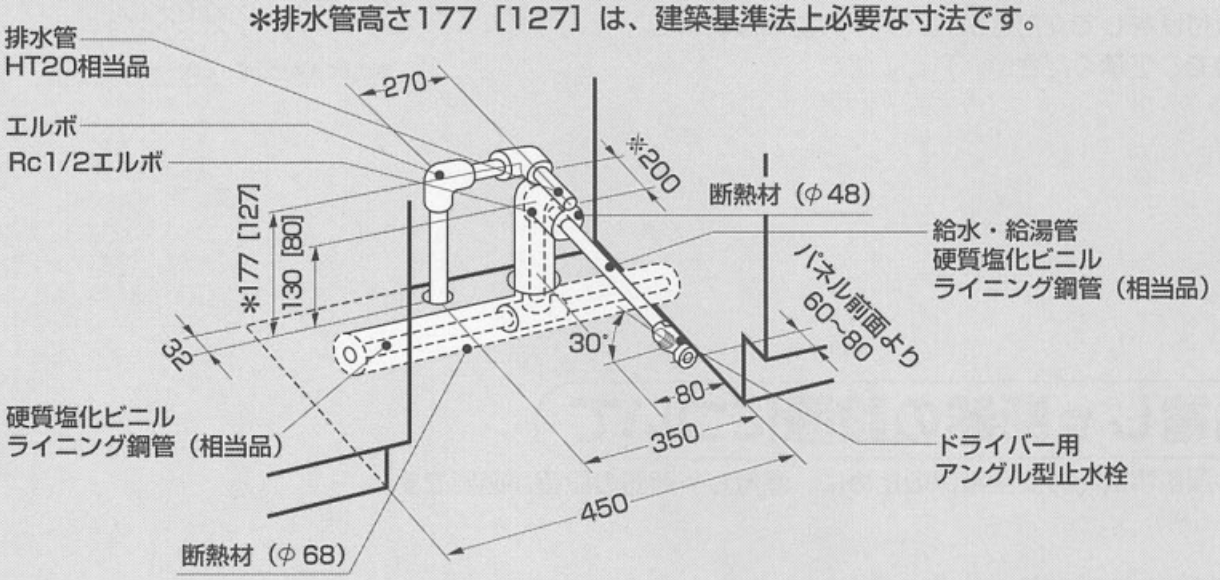
■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

- 排水管は給水管の上に配置します。
- 給水、給湯管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
  （給湯の場合は必ず耐熱配管にします。）
- 排水横枝管に至るまでの接続部分も耐熱塩化ビニル管（HT20相当品）を使用してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。

寸法はキッチン高さ850mmの場合　[　] はキッチン高さ800mmの場合　（単位：mm）

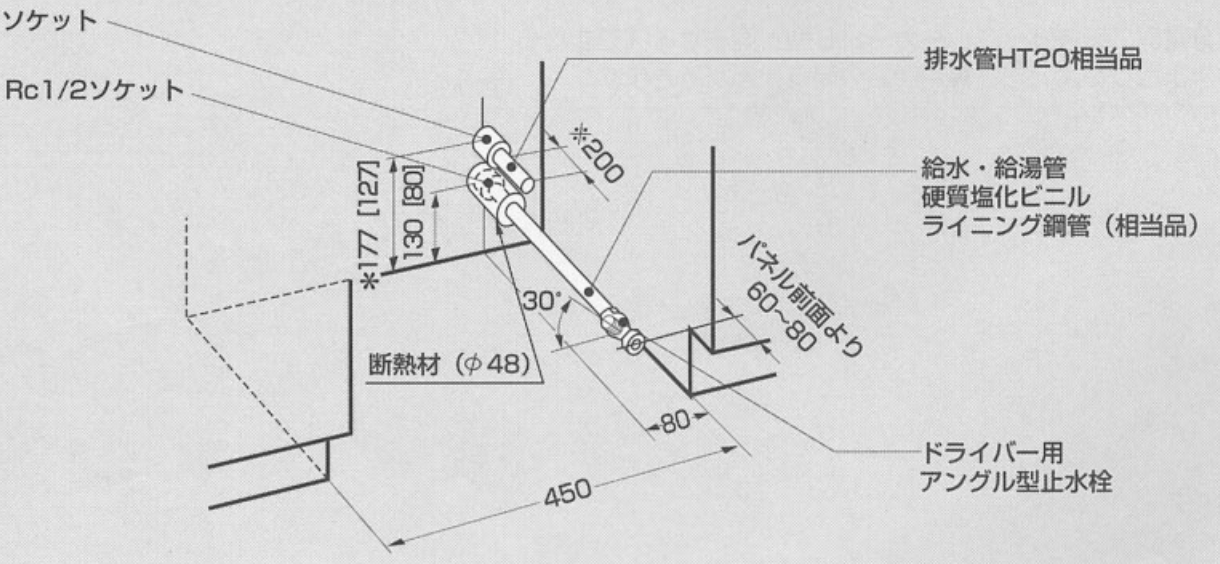
床立上げの場合

※排水管の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。
（キッチン奥行が長い場合は延長してください。）
＊排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。



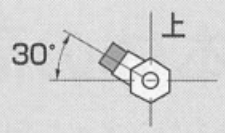
壁出しの場合

※排水管の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。
（キッチン奥行が長い場合は、延長してください。）
＊排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。

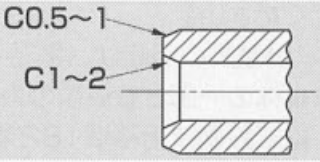


● ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。
（止水栓は閉じた状態で、出口角度を30°程上向きに）

止水栓角度

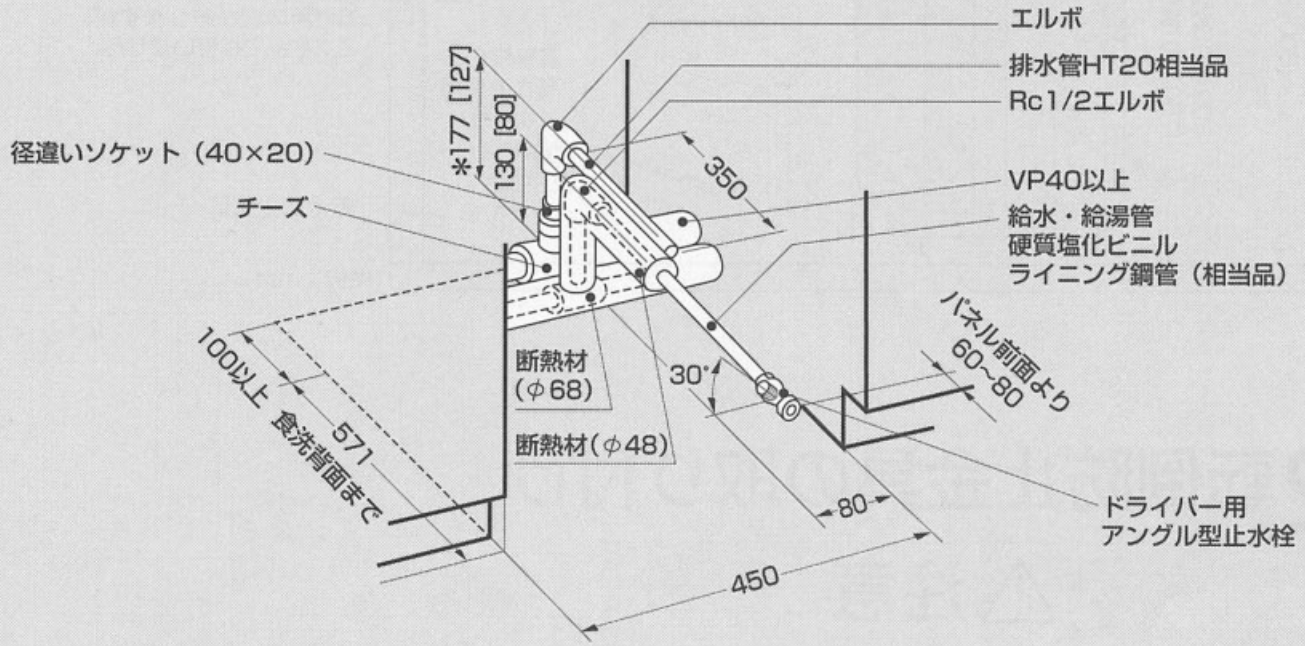


● 排水管HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。
外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。



床ころがしの場合

キッチン奥行L=75cm又は壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能
＊排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。



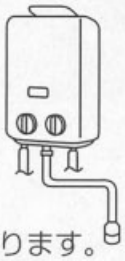
給湯機について

● 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。
※電気温水器には別売のミキシングバルブ［AD-M2140、AD-M2140N（寒冷地用）］（松下部材センター扱い）の接続をおすすめします。
● 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。製品へ給水されない恐れがあります。
● 食器洗い乾燥機の水道水圧は0.03～1MPa（0.3～10kgf/cm²）の範囲で使用してください。

⚠注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。

禁止



湯沸器からの水もれの恐れがあります。

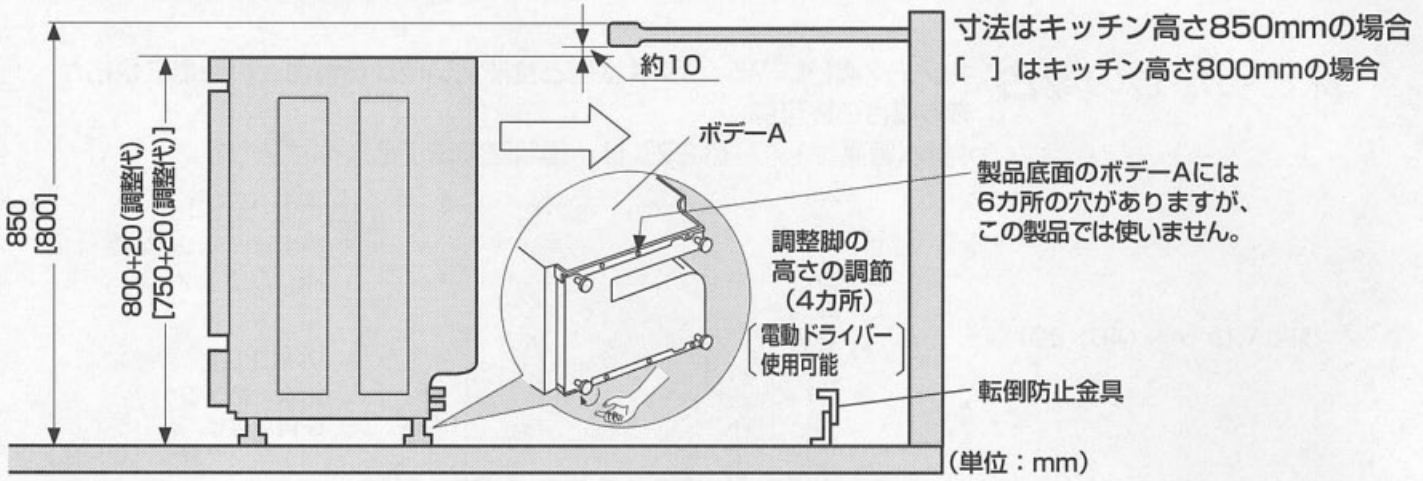
高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。

水もれの原因になります。

設置工事手順

1 本体の高さ調整

●カウンターと本体の間が約10mmになるように、スケール等で測って、調整脚の高さを調節してください。
（調整脚の回転は、電動ドライバーでも調整できます。）
※本体の一部と金属製のカウンターを接触させないでください。
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



2 転倒防止金具の取り付け

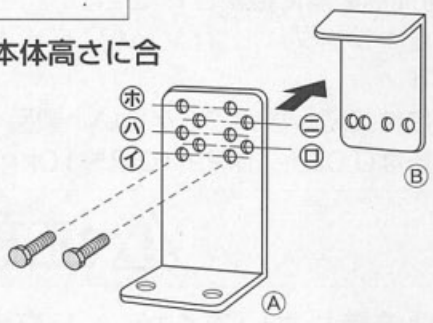
⚠注意

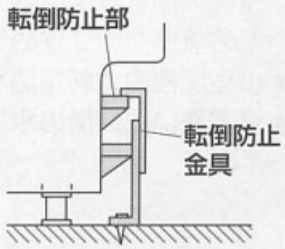
必ず転倒防止金具を取り付けてください。

開いたドアを押さえたときに製品が転倒する恐れがあります。

1 転倒防止金具Ⓐ、Ⓑ（同梱）を調整した本体高さに合わせて2本のボルト（同梱）で締める。

締付穴位置	本体高さ（mm）	
	キッチン高さ850	キッチン高さ800
㋑	800	750
㋺	805	755
㋩	810	760
㋥	815	765
㋭	820	770

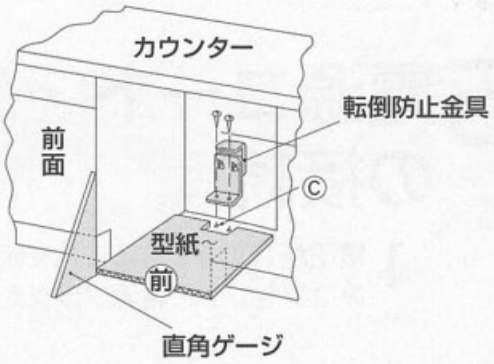




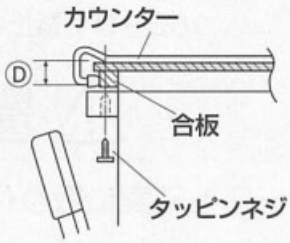
2 型紙(本体天面のダンボール)を床面に敷き、右図のように隣接する流し台等の前面に合わせてください。
※直角ゲージ(金尺、三角定規等)で正確に型紙を当てて位置決めしないと転倒防止の機能が果たされません。

3 切欠き部のⒸに付属の転倒防止金具を置いて、同梱のタッピンネジ大(2本)で床面に取り付けてください。

4 型紙を外してください。(取り付けは完了します。)

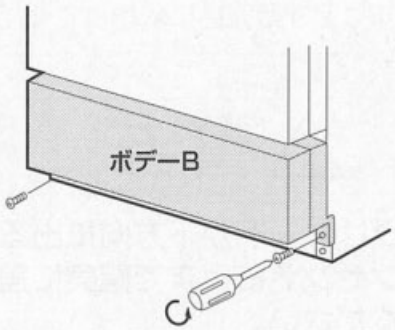


※コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は、本機のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピンネジ2本で固定することもできます。(但し、人工大理石カウンター等はできません)
※タッピンネジの長さは、右図のⒹ寸法より5mm以上短くしてカウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



3 ボデーBの取り外し

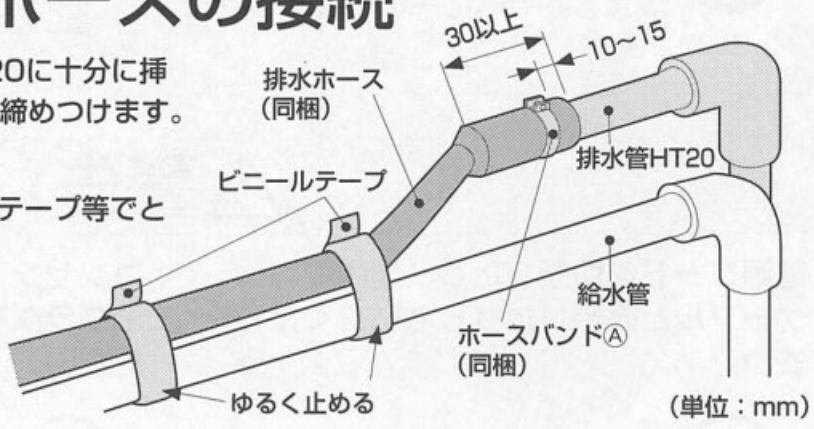
左右2ヵ所のネジを外し、少し上に持ち上げるようにして取り外します。
(このボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。)



4 排水管と排水ホースの接続

1 排水ホース(同梱)を排水管HT20に十分に挿入し、ホースバンドⒶ(同梱)で締めつけます。

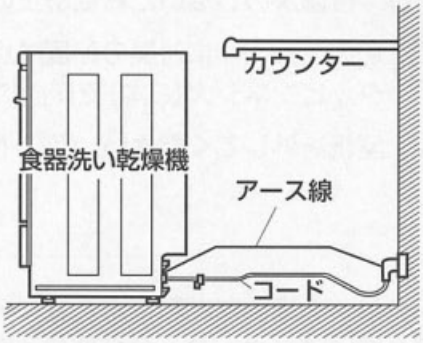
2 給水管へ排水ホースをビニールテープ等でとめます。



5 電源コード・アース線の接続

1 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。

2 アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
（法令等で禁止されています。）



⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。

アース線接続

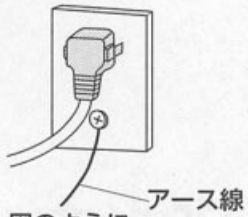
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

⚠ 警告

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。

上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。



⚠ 警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。

禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。

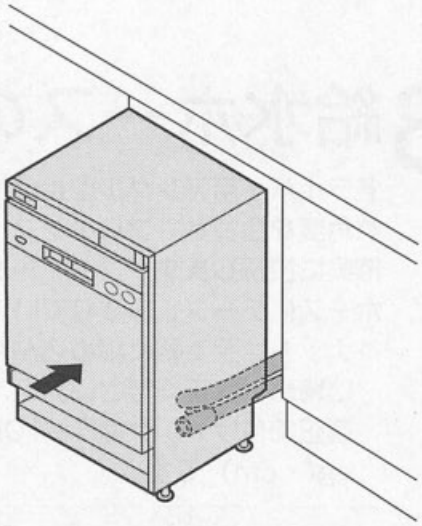
禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

6 本体のビルトイン

隣接する機器等に注意し、給水管・排水ホースが、台枠のトンネル部を通るように、本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。

※本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



⚠ 警告

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水管に傷をつけないでください。

禁止

感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

電源コードを転倒防止金具や調整脚との間に挟み込まないでください。

禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

7 排水ホースの接続

- 排水ホース（本体）を接続したトラップは事前に台枠の保持部にはめ込んでいますので、はずれていないことを確認してください。

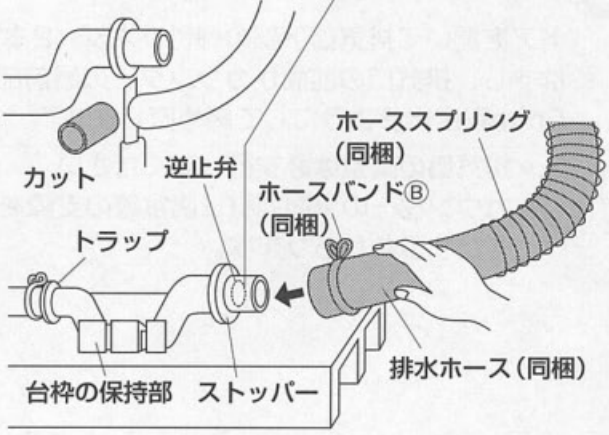
- 逆止弁をはずさないでください。（法令上必要です）
- 逆止弁を押し込まないでください。（排水不良の原因になります）

1 排水ホース（同梱）が折れないようにトラップに合わせ、長すぎる場合はカットします。

2 排水ホース（同梱）にホーススプリング（同梱）を挿入し、ホースバンドⒷ（同梱）をはめます。

3 排水ホース（同梱）をトラップのストッパーに当たるまで挿入し、ホースバンドⒷ（同梱）で固定します。
※排水ホースをねじらないように

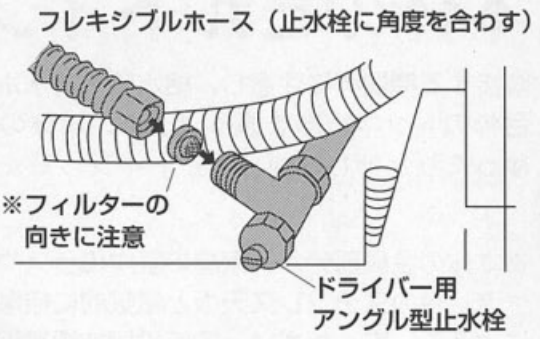
4 ホーススプリング（同梱）を排水ホース（同梱）の曲がり部分全体にセットします。



8 給水ホースの接続

ドライバー用アングル型止水栓にフィルターを入れ角度を合わせてフレキシブルホース（本体）を確実に接続します。（フィルターはフレキシブルホースにテープ止めされています。）

※ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
適正締付けトルクは5～10N・m（50～100 kgf・cm）です。

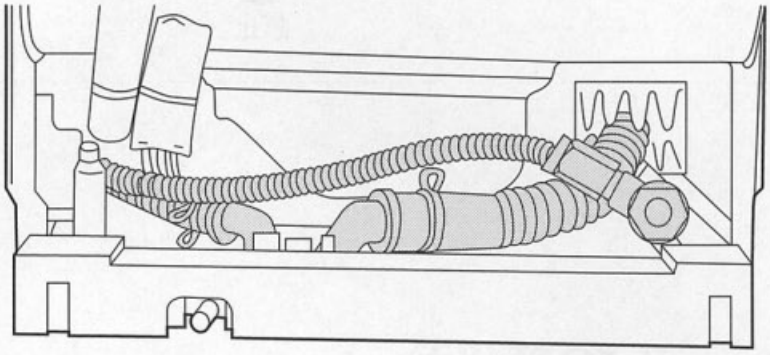


⚠ 注意

フレキシブルホースは切断しないでください。

禁止

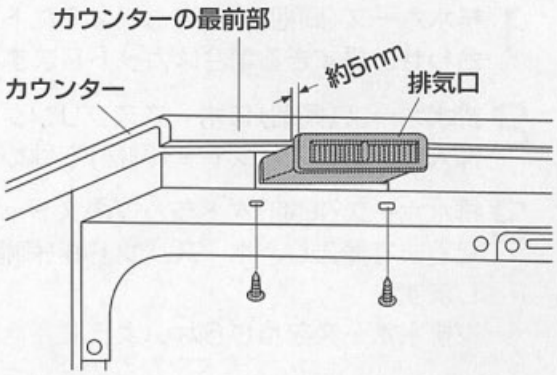
水もれの原因となります。



9 排気口の調整

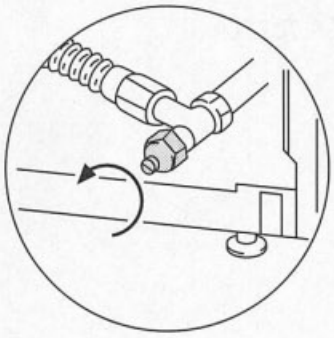
ドアを開いて排気口下部の締付けネジ（2本）をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5mm程度出るようにして締め直します。

- 排気口の調整は必ず行ってください。
  カウンターの裏面芯材に腐食等の支障をきたす恐れがあります。

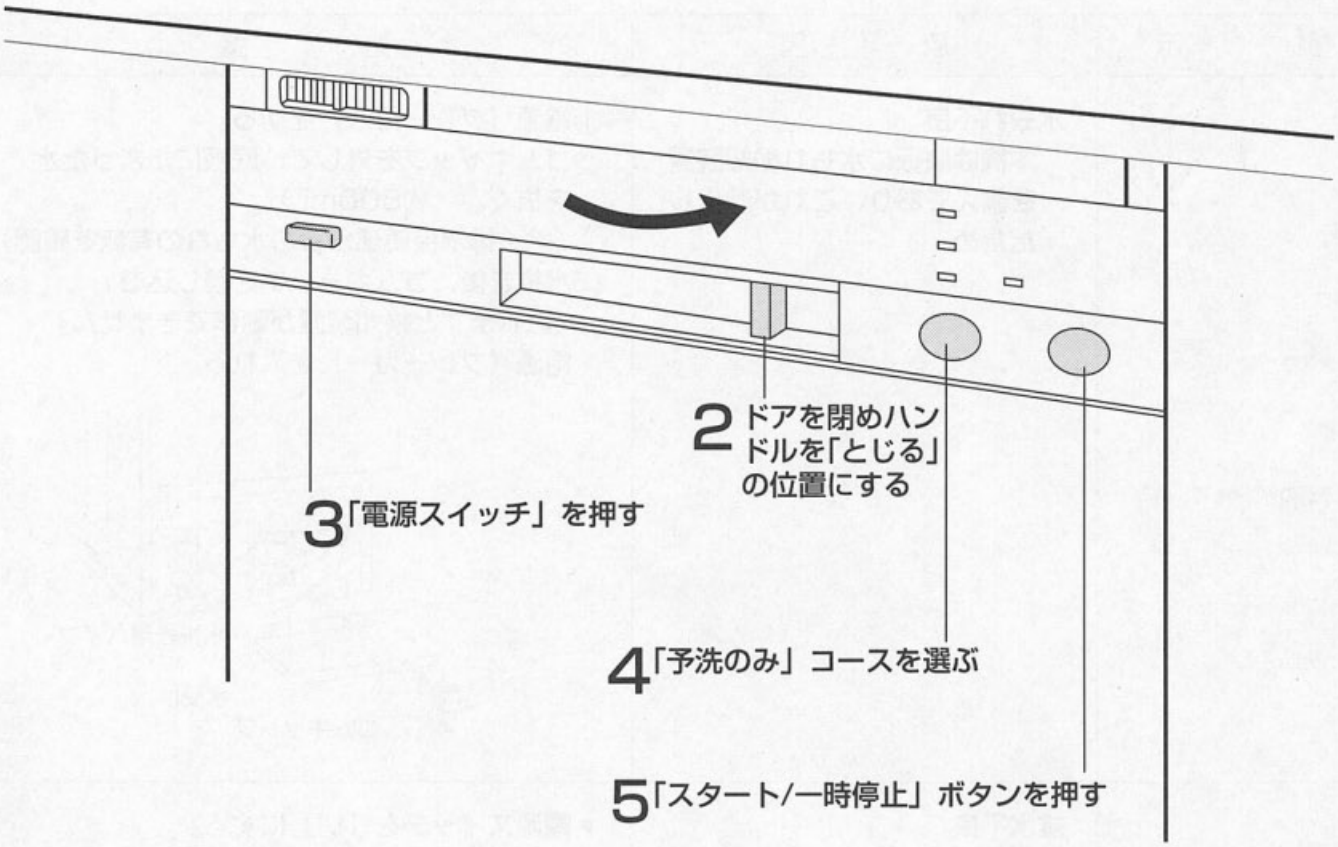


試運転

- あらかじめ電源の通電と給水の開栓を確認してください。
- 次の順序で試運転を行ってください。約8分で終了します。



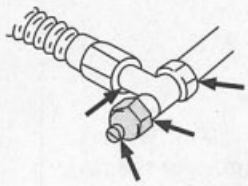
1 止水栓を開く



確認項目

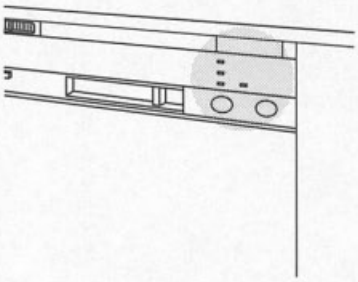
- 噴射音：バシャバシャ音がするか確認する。
  （一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する為）
- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。
- ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。
  （残菜フィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません）

水もれ確認

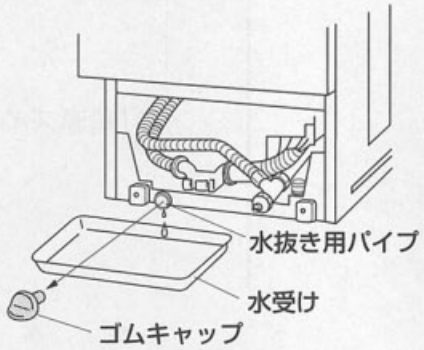


異常報知について

試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。



点滅
消灯

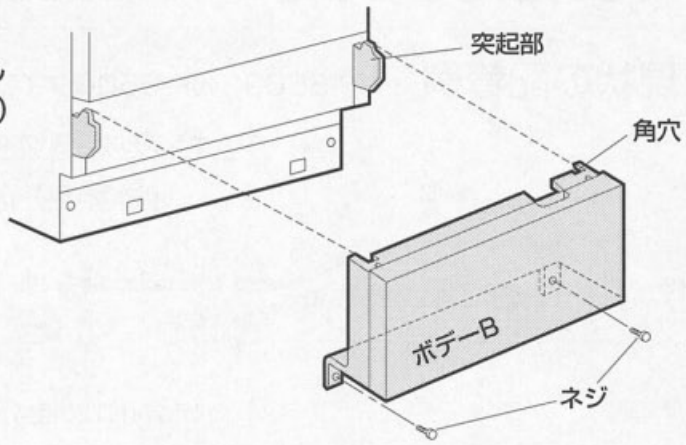
表　　示	原　　因	処　　置
念入り 標準 予洗のみ　乾燥のみ	水もれ不良 本機は底板に水もれ検知装置を備えており、これが動作したため。	①電源（ブレーカー）を切る。 ②ゴムキャップを外して、底板にたまった水を抜く。（約500mL） （給・排水接続部からの水もれの有無を確認） ③水抜き後、ゴムキャップを差し込む。 （忘れますと検知装置が動作できません） ④電源（ブレーカー）を入れる。 
念入り 標準 予洗のみ　乾燥のみ	排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認。 ●ホース折れ部には必ず同梱のホーススプリングを挿入する。
念入り 標準 予洗のみ　乾燥のみ	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	●電源スイッチを「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●水道栓（元栓および本体内の止水栓）は必ず開栓する。

上記の処置後、再度試運転を行ってください。

試運転後の作業

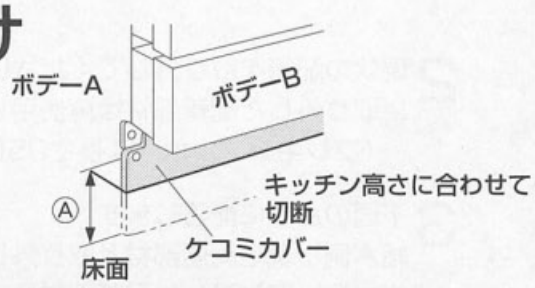
1 ボデーBの取り付け

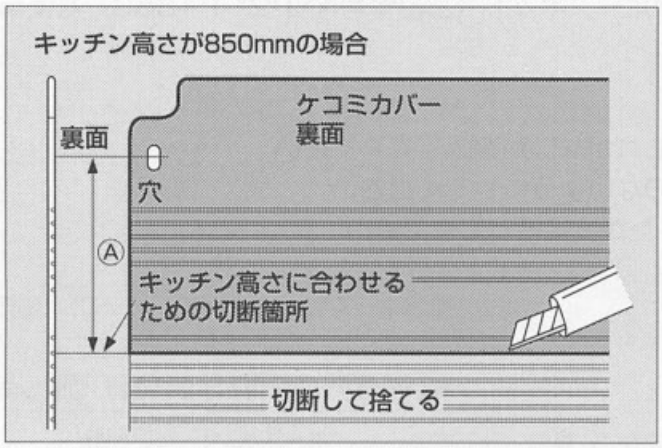
ボデーBの上部の角穴を本体の突起部にはめ込んでから下部を（11ページ「ボデーBの取り外し」）で外したネジで締め付けます。
（左右2ヵ所）

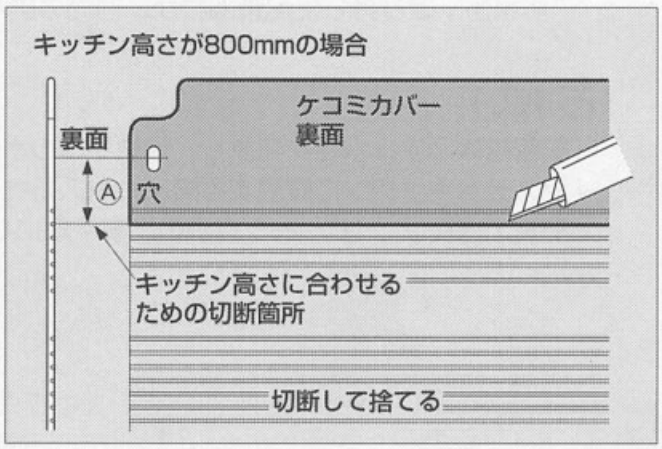


2 ケコミカバーの取り付け

1 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフ等で切断します。
（キッチン高さにより、切断箇所が異なります。）
床面とボデーAのネジ穴の高さⒶをはかってそれに合わせてケコミカバーのⒶ寸法で切断します。

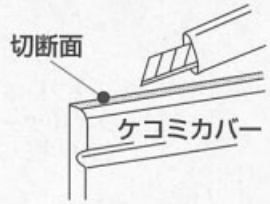




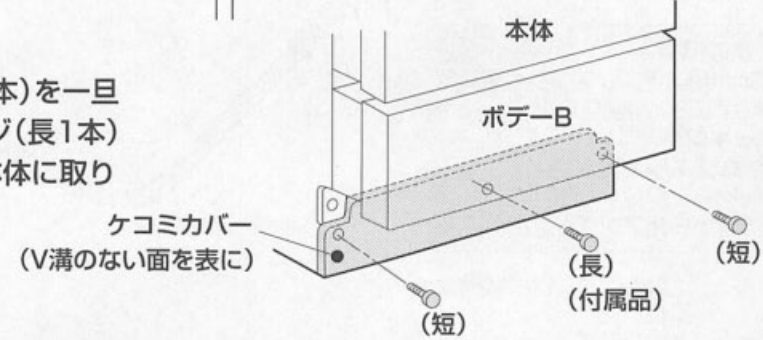


※上図は切断位置の一例を示します。設置されるキッチン高さに応じて、ケコミカバーとボデーAの穴位置が合う高さで切断してください。

2 カッターナイフ等で切断面の端面処理をします。
（切傷防止のため）

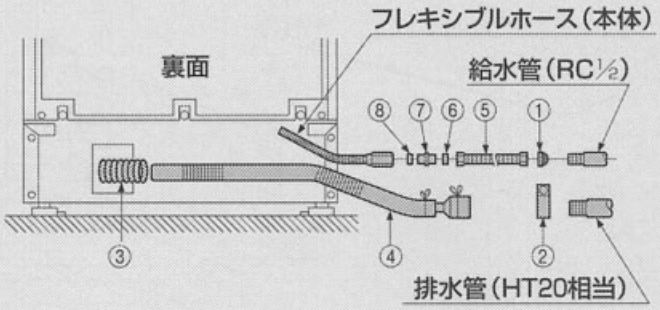


3 下側の左右の黒色タッピンネジ（短2本）を一旦取り外した後、同梱の黒色タッピンネジ（長1本）を中央にして3か所ネジ止めして、本体に取り付けます。



買い替えの場合の配管施工例
（後面引き出しの場合）

現状の配管例 ※NP-5600、NP-5500タイプの後面左右引き出しでの配管をすでにしている場合。



①フイルター（フレキシブルホースにテープ止め） ②ホースバンド ③ホーススプリング	④排水ホースキット（ANP211-1550）	⑤フレキシブルホース ⑥パッキング ⑦ニップル（G½） ⑧パッキング

工事手順

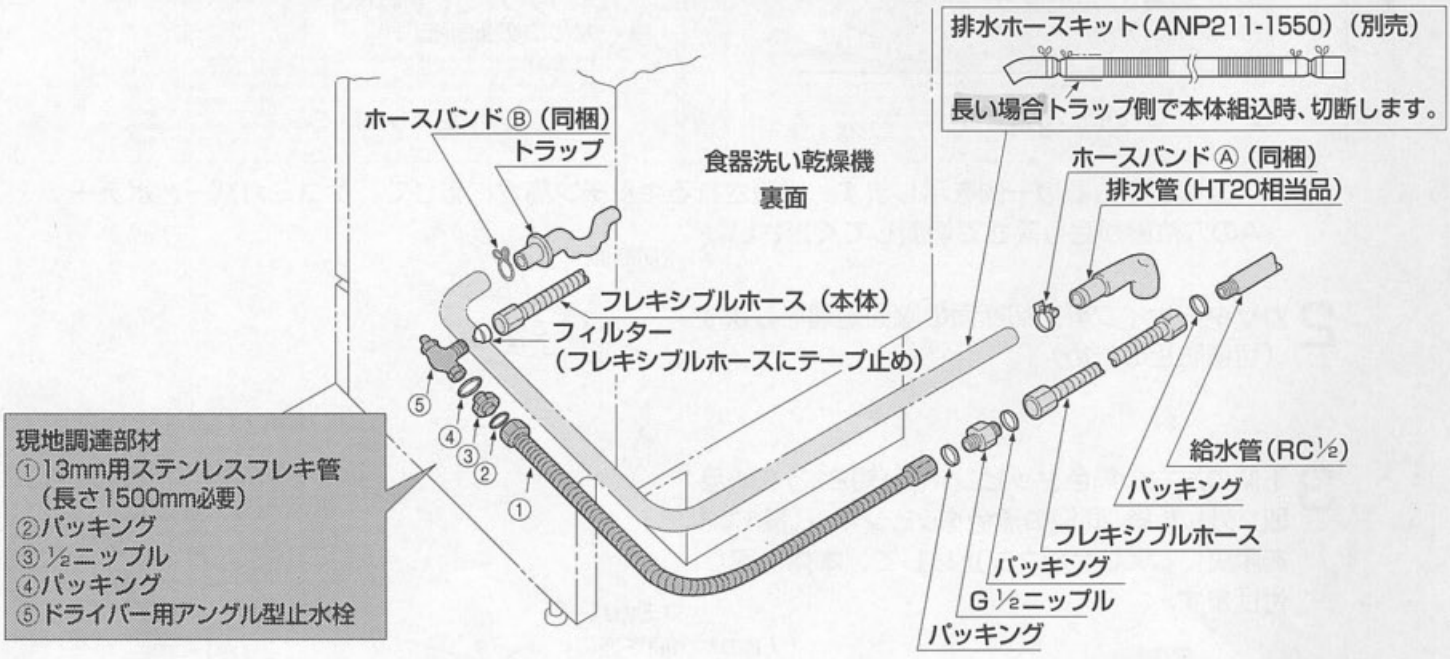
1 現地調達部材（①～⑤）を用意してください。（下図）

2 現状の配管を取り外してください。
※取り外した配管部材は再使用しますので廃棄しないでください。
（フレキシブルホース長さ950は短いため使用しません。）

3 下図のように配管します。
給水側：現地調達部材と取り外した配管部材を使用
排水側：取り外した配管部材か、別売の排水ホースキット（部品番号ANP211-1550）を使用

お願い

- 配管後は必ず止水栓を開放し、接続からの水もれがないか確認してください。
- システムキッチンに設置する際、ホース折れのないようにしてください。
- 配管工事後は、10ページ以降の工事手順にしたがって行ってください。



工事後の点検(チェックリスト)

点検		点検内容	参照項目	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	5ページ	
	排気口の調整	アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より5mm程度出ていますか。	14ページ	
給水・排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。	9ページ	
	フィルター	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	14ページ	
	排水ホース	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	11ページ 13ページ	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V　15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	6ページ 12ページ	
		アース線を接続しましたか。	12ページ	
試運転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	15ページ	

お客様への取り扱い説明

取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

松下電器産業株式会社　洗濯機事業部

〒561　大阪府豊中市神州町1番2号
電話(大阪06)331-0051(大代表)

P9902-22910